

# ひゃくちん通信

第12号

平成28年 弥生

〒421-1221  
東海フーズ株式会社  
静岡県美区牧ヶ谷2037  
054-277-1667



こんにちは。

皆様お元気でお過ごしのことと思います。

いつも御注文頂きありがとうございます。

社員猫の「ひゃくちんちゃん」です。

社長の自宅警備に転勤して、もう半年余りとなりました。もうすっかり社長の家族の一員となった気分です。

さて、今回は社長が是非皆さんに読んで頂きたい第9号でもお話した京都府のお客様の情報誌からのお話です。

「東海フーズもこんな風にお客様の人生にお役に立ちたいな」と思いました。

東京のデイズニールランドでのお話です。

ある日、インフォメーションの男性が暗い顔でやってきました。

「あの…落ちた物を拾ってしまっ

た。どういったものかしらうか？」

「サイン帳です。子どもがミッキーやニールちゃんのサインが欲しいって、園内

のいろんなところを回って

書いてもらったものです。

あと少してキャラクター

全員のサインがそろそろ

そろそろだったんですが…」

インフォメーションにサイン帳は届いていませんでした。心当たりの場所にもかたづけから電話をかけてみました。が、どこも届いていないという返事でした。

「滞在はいつまででしょうか？」

「二泊三日のツアーに参加しているのですが、二日後のお昼には帰ることになって

います。」

「では、このあともう少し探してみますので、お帰りの前にもう一度こちらにお

立ち寄りくださいますか？それまでには見つけられると思いますので。」

そのキャストはサイン帳の特徴を詳しく聞き、男性を送り出しました。男性が帰ったあと、オフロにいくつかの小さい

セクションに電話をしました。サイン帳のことを伝え、さらにほかのキャストにも声をかけてもらって、大勢でパーク内

をいっせいに探して回りました。

ところがどうしても見つからなかった。キャラクターのサインがあるサイン帳だから、誰かがそれを拾ったとき、うれしくて持って帰ってしまったのかも

二日後、この園の男性がインフォメーションに現れました。

「どうでしたか？」

「たぶん見つからなかっただろう、という口ぶりでした。キャストは残念そうに答えました。」

「大変申し訳ございません。全力で探したのですが、サイン帳を見つけることはできませんでした。しかしお客様…二冊のノートが差し出されました。」

「どうですか？こちらにサイン帳をお持ち帰りください。」

渡されたノートを開いてみると、そこにはなんとキャラクターのサインが書かれていました。しかもキャラクター全員のサインがちゃんとそろっていたのです。キャストは落としたサイン帳と同じものを店で見つけてきて、いろんなエリアを歩き回り、キャラクターたちにサインを書いてもらったと説明しました。

男性は顔をくしゃくしゃにして喜び、何度も何度もお礼を言っていました。

この話はこれで終わりはありません。後日、一通の手紙が届きました。

先日はサイン帳の件、本当にありがとうございました。

じつは連れてきてくれた息子は脳腫瘍をわずらっていて、いつ大事に至るかかわらないような状態だったのです。

息子は物心ついたときから、デイズニールが大好きでした。

「パパ、いつか絶対デイズニールランドに連れて行ってね。」

と毎日のように言っていました。私は、もうたね、行こうねと答えながら、でもも



しかしたら約束を果たせないうちもいれないと不安に思っていました。命は、あと数日で終わってしまうかもしれない。だから、せめていまのうちに喜ばせてあげたいと思い、無理を承知でデイズニールランドへ連れて行きました。その息子が、ずっと夢にまで見ていた大切なサイン帳を落としてしまったのです。

息子の落ち込みようは見えていて苦しくなるほどでした。しかし、あなたが用意してくれたサイン帳を渡したときの息子の顔が忘れられません。

「あつたんだね、パパありがとうね。」と本当に幸せそうな顔でした。ほんの数日前、息子はこの世を去りました。ずっとサイン帳をながめていました。

「デイズニールランド楽しかったね。また行こうね」と言い続けていました。

眠りにつくときもサイン帳を抱えたままでした。もしあなたがあのとき、サイン帳を用意してくれたらなかったら、息子はあんなにも安らかな眠りにはつかなかったと思います。息子様デイズニールランドの思い出になったと思いたいです。あなたのおかげです。本当にありがとうございました。



皆様 読後ごの様に感じられましたか。

私は読んでいる途中、涙で文字ががすんで読めなくなりまして。

デイズニールとデイズニールの社員さんは本当の意味でお客様のお役に立ちましたよ。

(社長談)